

# 神樹の会会報

No. 13

昭和 63年 1月 15日

発行所：神樹の会

発行人：牧野 一夫

本部事務所（六甲作業所内）

〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号

☎821-1533

六甲作業所、東部生活訓練所

〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号

☎821-1533

垂水作業所

〒655 神戸市垂水区星陵台4丁目4番45号

☎782-9675

福祉の店「いたやど」

〒654 神戸市須磨区大黒町2丁目2-12

☎733-2477

（事業所）

## 198 本年もドウゾヨロシク 感謝

# 謹賀新年

神樹の会 会長

牧野 一夫

明けましておめでとございます。

君の幸 わが幸折る 初詣で  
全く素人の方の作ですが私の好きな句です。

先ず社会や家族の清祥を祈り、次いで我が身の健康を祈るといつつましやかさをうれしく思います。幸い今年の正月は好天に恵まれ何か良いことのあるような年頭でした。古来日本人は縁起をかつぎ易く、四季のけじめを大切にしてきました。過去のいきさつをさらりと忘れ、希望に満ちた初春を迎えたいものです。

神樹の会の最大の使命は、次々と社会にでてくる卒業生に安定した場を与えること、現在活動している作業所や生活訓練所を充実することにあると思います。さしあたり緊急の課題としてはデイ・サービス施設の準備と長期計画として療護施設の建設の準備にかからねばならないと思っております。

私たちの事業が順調に運ぶ根底の一つには会員相互の自立と連帯感が一段と強固なものになると共に、閉鎖的で孤立しないためにもあらゆる友好団体と緊密に提携するという視野の広さが必要かと思えます。

本年もまた旧倍のご協力を願ひ申し上げます。

六甲作業所 谷 良子  
1. 開所十一年目に入り、受注先の信用をますます得るように全員力を合わせ仕事に励みたい。  
2. 各自健康に気をつけ、能力を少しでも伸ばすように、精一杯がんばりましょう。  
3. 一人一人が責任を持って仕事を効率よく、ていねいに仕上げていきたい。

垂水作業所 藤田 愛子  
1. 楽しさ思いやりの中にもきびしさを求め、新感覚で作業+αを作る努力をします。  
2. 親の超過保護から脱皮し主体性のある生活を目指しに体力精神力をつけてほしい。  
3. 自分のできる限度を少し超えたことを毎日一つずつ実行していこう。

東部生活訓練所 金沢 葉子  
1. 一人一人のニーズに合ったデイ・サービス実現に向けて努力したい。  
2. 自分にあつた楽しみを見つけて欲しい。お母さん方にも楽しいひとときを持って頂きたい。  
3. 皆で出かけるときなどに記録しておきたいのでビデオカメラが欲しい。

新年にあたって神樹の会各事業所より次の三項目について言葉をいただきました。

1. 今年の抱負
2. 所員（園生）に望むこと
3. 所員（園生）よりのひとこと



垂水作業所  
全国で販売される箱の詰め作業



六甲作業所  
印刷組み立て



お母さん方お手伝い

3. 今年はみんな力で合わせて自作自演の人形劇に取り組みたいと思います。

1. 満五周年を迎え飛躍の年でありたい。まずは明輪会への運営移行の実現。
2. どんな生活環境にも適応できる「たくましさ」を身につけてほしい。

3. 園生相互の理解が得られてきた。本年は、これをもとに、仕事・日常生活を楽しいものにしていくよう、全員で考えたい。

神樹の会と神戸市重度心身障害児（者）父母の会が力を合わせて生み出したワークホーム明友並びに星陵園からもひとこといただきました。

ワークホーム明友 高井 寛  
1. 2. 「初心忘れるべからず」日常良く聞かれることばですが、生活の中で埋もれ心の中から消えてしまいがちでもあります。今年は、平凡だがそんな気持ちを大切にしたい。

福祉の店「いたやど」が市民の皆さまにいつそう愛されますように、今年も汗を流します。ご協力お願いいたします。

高木 恵子

## 功労賞 牧野会長



五十四年度より毎年実施されている神戸市「市民福祉頭彰」の六十二年度功労賞を神樹の会牧野一夫会長が受賞された。この賞は、市民福祉の向上、発展に貢献した団体や個人に贈られるもので、功労賞に三人一団、奨励賞に三団体が選ばれた。牧野会長は長年にわたって、肢体不自由児者の育成並びに障害者の福祉のためにご尽力され、又神樹の会の結成運営に指導力を発揮されていることにより賞を受けられた。今回は、神戸市教育委員会のご推薦また神戸市民生局のお力添えによるものであることを、会員一同深く感謝申し上げます。



去る十一月九日、十日の両日にさんちかホールで盛大に催された第十六回神樹の会チャリティバザーは、神戸市内の各PTA並びに一般市民の皆さまの絶大なるご支援、ご協力のものとすばらしい成果を挙げる事ができました。会員の皆さま大変ご苦勞様でございました。毎年一回行なわれるバザーの利益の

### 第16回バザー収支決算

収入の部		支出の部	
バザー売上げ	5,856,213	会場設営費	270,600
会場募金	11,104	通信費	174,650
寄付金	1,419,318	事務費	16,252
		文書印刷費	150,080
		手芸材料費	84,430
		値札及梱包費	33,650
		雑費	383,160
計	7,286,635	計	1,112,822

差引収益 6,173,813円

昨年十一月二十日から三泊四日、兵庫県社会福祉洋上セミナーで行なわれた講演の中、県社協常務理事生田勲氏の講演の一端を紹介します。  
1. 超高齢化社会と福祉の影響  
日本の社会は環境の変化と医療の進歩によって急速な勢いで高齢化社会を迎えることになる。国民総医療費は現在の十六兆が三十年後には百十六兆円にも達するであろうといわれている。その上福祉に対する要求が多様化し個々の障害に適応した療育が行なわれ、医療費年金制度、老人保険法の改正などで国の財政で福祉

### 福祉改革の方向

高福祉、高負担の時代へ  
2. 施設福祉から地域福祉、在宅福祉の時代へ

お陰で、神樹の会の各事業がスムーズに運営され、また今後の福祉進歩のための備えを用意することができますことは、背後にあって多くの方々が物心両面にわたって支えてくださることを強く覚え、心より感謝申し上げます。今後とも会員一同が心を合わせ次のビジョン達成を目指して総力を結集して参りましょう。



前回のバザーが宣伝不足だったのが今回は街頭でのビラ配りをしました。慣れなくて、サンチカや駅では禁止ということで注意を受けたり、いろいろありましたが、ビラを見てこられた方も多く大成功でした。

活気あふれる値付け室作業は分担されてスムーズに流れます。品物を積めたダンボールにしっかりとヒモをかけ、高く積んでいきます。年期の入ったお母さん方は、その手元が職人芸のよう。「あら、この箱ずいぶん古いわね」開けてびっくり玉手箱。素晴らしい塗の高級品が…。大切にしまわっていたの



歌手の滝本一也さんが、マネージヤリや後援会の方といっしょに作業所にすばらしいプレゼントを届けにきて下さいました。バザーの寄贈品を大きくした。ダンボールに十箱も集めて下さったので、それに有馬ヘルスセンターでは募金箱を回して下さったことと本当に感謝！

### このゆびと〜まれ

でしようか。皆さまから頂いた心温まる品々にかこまれて、私たちも頑張らねばと気をひきしめたのです。

垂水養 小四母親  
進 元 文 枝  
ついこの間、私の長男が十才の誕生日を迎えました。「もう十年も経ったのかしら」と、時の流れる速さにびっくり致しました。でも、この間に悲しみもあり、苦しみもあり、そんな事も時が経てば、何事もなかったかのように。ただ無事に過ごしてこられた事に感謝するのみです。私、この時をもちに考えさせられた事があります。それは「この十年間よりも、これからの十年の方が、私たち親子にとつてどれだけ厳しく

ぼくは嬉しくしてお礼のしるしとして滝本さんの歌を力いっぱい歌いました。



新車がひとときお預かりしてみます。

### 編集後記

多くのの方々執筆で楽しい紙面ができ上がり大変うれしく思います。今号より会員だけでなく関係諸機関にも会報をお送りする予定です。ご協力ありがとうございます。  
編集委員会  
宮脇 西村 西原

このたび兵庫県遊技業協同組合(三宅正平理事長)から同組合の設立三十周年を記念し、車椅子に乗ったまま乗降できるワゴン車が寄贈され一月十二日に贈呈式が行なわれました。五十二年から所員たちの送迎に使われていた車は、お役目を十分に果たし廃車にされることになりました。感謝！

### あのこと報告

相談コーナー開設のお知らせ  
会員より要望の高かった相談コーナーが六十三年度より開設されることになりました。相談の内容は、あらゆる分野でお受けしたいと思います。(くわしくは次号で)

六甲作業所へリフト付きワゴン車